

9月 はがん征圧月間です

9月1日から9月30日はがん征圧月間です。当センターでは、がん予防に対する意識啓発を目的とし、適切な予防や早期発見、早期治療を呼びかけました。

2024 R A Bまつりへ出展

令和6年9月15日（日）～16日（月）、青い森公園・観光物産館アスパムにおいて「2024 R A Bまつり」が開催されました。がん征圧月間運動の一環として、協賛ブースへ出展し、来場された方へがん検診受診等と呼びかけました。

体験コーナー



血圧測定



握力測定



がん細胞顕微鏡観察



栄研化学株式会社 便潜血検査のキャラクター「うんちくん」が登場し、会場を盛り上げました。



乳がん検診車「さくら」展示

たくさんの御来場、ありがとうございました。

令和6年9月1日東奥日報でがん征圧月間記事を掲載しました。がんの現状や、がん検診の必要性等を盛り込み、がん検診の早期発見・早期治療を訴えました。

第47836号
(第三種郵便物認可)
〒980-0801 青森県青森市
〒980-0801 青森県青森市
〒980-0801 青森県青森市
〒980-0801 青森県青森市
〒980-0801 青森県青森市
〒980-0801 青森県青森市

**9月は
がん征圧月間**
～胃がん検診について～

がん検診 あなたの暮らしの 習慣に

理事長挨拶

青森県総合健診センター
理事長
中路 重之

公益財団法人青森県総合健診センターの事業運営につきましては平素より格別のご支援、ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、青森県のがん死亡率は、全国で最も高く、2022年の75歳年齢調整死亡率は、19年連続で全国ワースト1位となっています。健康で長生きな青森県をつくるには、生活習慣の改善やがん検診の受診がとて重要です。

私たちは、県民のみならずどこの地域に住んでも、質が確立された健診をお受けできるように、日々精進しております。また、健診の結果は、精度が高く信頼できるものをお届けできるよう、弘前大学、医師会を中心として、それぞれの分野の専門医と連携し、検査の信頼性確保に努めてまいります。

みなさまの健康のために、精度の高い信頼性のあながん検診等に一層力を入れてまいりますので、地域に貢献する健診機関としてご理解とご協力をお願い申し上げます。

対象臓器	検診方法	対象と受診期間
肺	胸部X線と喀痰検査の併用	40歳以上、毎年
胃	胃X線検査、内視鏡検査	40 or 50歳以上、毎年 50歳以上、隔年
大腸	便潜血検査	40歳以上、毎年
子宮頸部	細胞診	20歳以上、隔年
乳房	マンモグラフィ（+視触診）	40歳以上、隔年

検診結果

昭和の内視鏡検査 → 令和の内視鏡検査

胃癌、胃潰瘍	胃癌、胃潰瘍
ピロリ菌感染胃炎	ピロリ菌感染胃炎
ピロリ菌感染なし	ピロリ菌感染なし

異常なし

内視鏡による胃がん検診がお勧めの人

- 食道癌のリスクがある
胃がんリスクは高い。大腸では正確な評価ができません。
- 胃の部分切除術を受けた
胃がんリスクは高い。大腸では正確な評価ができません。
- ピロリ菌除菌時にすでに胃がんリスクが高い胃だった
- 開腹手術の既往
（外科、産婦人科での手術）
開腹の必要がある。
多くは高齢・要介護では腫瘍学・穿孔の危険

ピロリ菌未感染者

腸いまってなヒダ。

ピロリ菌感染者

腫れて膨らむヒダ。バクテリアの溜まり。

一次予防と二次予防

がんの予防には、一次予防と二次予防があります。一次予防は、がんになることを防ぐことです。子宮頸がん、肝がん、胃がんにおけるHPVワクチン、肝炎ウイルス除去、ピロリ菌除菌のような発がん因子への対策が該当します。禁煙も一次予防と考えられます。二次予防は、がんで死にすることを防ぐもので、現在行われているがん検診は死亡率減少効果が証明されています。罹患率が高く早期がんの治療率が高い胃がんは、二次予防が有効です。

胃部X線検査による胃がん検診

胃部X線検査はバリウムと胃の中で気体になる発泡剤を使います。早期がんの発見率は内視鏡に劣るものの、胃がん死亡率を減らすことができます。

検診車または健診センターで撮影された画像は、それぞれ2名の消化器学会・消化器がん検診学会の専門医が独立して診断します。発見胃がんの2割程度は一人の読影医のみのチェックであり、2名でチェックすることで診断の精度を高めています。また、当センターでは弘前大学

内視鏡によるスクリーニングと精密検査

内視鏡検査は発見胃がんの早期の割合が胃部X線検査より高く、2年に1度です。内視鏡検査では、病変から組織を採取してがんの確定診断ができることも利点です。当センターの附属人間ドックセンターでは、消化器内視鏡学会専門医スクリーニング内視鏡認定医が以下のよう最新の技術を使って、スクリーニング内視鏡と胃部X線検査を精密検査の精密検査を行っています。内視鏡検査の進歩は著しく、複数の画像強調法の導入により、さらに微小な病変が発見され、早期発見がんの発見も増加しました。当センターでもすでに導入していますが、AIを搭載した内視鏡システムも開発されました。AIは画面全体を隅々まで均等に評価するので、内視鏡医が付いている病変も指摘します。内視鏡画像の向上は、胃粘膜の状態からのピロリ菌感染も可能になりました。昔の内視鏡検査は胃がん、潰瘍などの病変がなければ「異常なし」でしたが、現在は病変だけでなくピロリ菌感染もない胃が「異常なし」です。内視鏡検査されている方が発見されます。内視鏡検査を受けた際は、医師にピロリ菌感染についても確認してみます。

ピロリ菌の検査と除菌

当センターでは、ピロリ菌感染が疑われた方には感染診断と除菌治療を保険診療で行います。除菌による胃がん予防効果は、除菌時の胃粘膜の状態によって異なります。一般に若い人ほど効果が期待できますが、若いうちに除菌しても未感染の人より胃がんリスクが高いため、除菌後も胃がん検診が必要です。

終わりに

私たちは青森県のがんを減らすために、常に新しい検査と技術を導入しています。是非、当センターのがん検診を受診してください。

青森県総合健診センター
常務理事・診療所長
下山 克

●青森県総合健診センター／青森県青森市出町二丁目12 TEL:017-741-2336

テレビ・ラジオCM 実施

9月中、RABテレビCM、RABラジオCMを実施しました。

テレビ・ラジオCMでは、軽快な音楽で検診受診を呼び掛けています。是非がん検診をお受けください。

- 5 -